

11. 何時までも元気を配達する老人でいたい!!

グループ名：伊奈学正調安来節同好会

代表者：大澤 貞男

①活動の目的：

1.私達は正調安来節を学び技能の向上を図り伝統芸能の伝承と発展に寄与するとともに会員相互の親睦をはかり各施設、各学校、地域活動等に積極的に参加し社会に貢献する。

2.私達は被介護者にならないように努力し、出来れば長く介護をする側で頑張りたい。そのたため自分達の健康維持に努め、楽しみながら練習しその成果を各施設、病院等で幅広く披露して皆と一緒に楽しみ笑う事を目的とする。

②活動の概要（H26.10～H27.9）

介護施設他訪問回数：21回 練習回数：公民館他 24回

| | 平成 26 年 | 訪問場所 | 催し物 | 参加者 |
|----|---------|----------|-----------------------|-----|
| 1 | 10月2日 | 大和田エリジオン | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん | 8 |
| 2 | 10月30日 | 大和田そよ風 | 安来節 2 題,フラダンス,八木節他 | 7 |
| 3 | 11月3日 | 生涯生活センター | 安来節 2 題 | 9 |
| 4 | 11月6日 | 浅草散策 | 浅草木馬亭見学 | 9 |
| 5 | 12月4日 | 大和田エリジオン | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 7 |
| | 平成 27 年 | | | |
| 6 | 1月22日 | D/S あげぼの | 安来節 2 題,フラダンス,八木節他 | 8 |
| 7 | 2月5日 | フローラ蓮田 | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 7 |
| 8 | 3月5日 | 大和田そよ風 | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 7 |
| 9 | 3月6日 | 生涯学習センター | 安来節 2 題 | 9 |
| 10 | 3月26日 | 三橋そよかぜ | 安来節 2 題,フラダンス、八木節他 | 7 |
| 11 | 4月12日 | 上野精養軒 | 安来節 2 題 | 12 |
| 12 | 4月16日 | 大和田エリジオン | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 7 |
| 13 | 4月23日 | 伊奈あずみ苑 | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 8 |
| 14 | 5月21日 | 上尾あずみ苑 | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん | 8 |
| 15 | 5月28日 | 大和田そよ風 | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 7 |
| 16 | 6月7日 | 大宮市民会館 | 安来節 2 題 | 9 |
| 17 | 6月18日 | 蓮田桜台サロン | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 9 |
| 18 | 6月25日 | 三橋そよ風 | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 8 |
| 19 | 7月14日 | ソニックシティー | 安来節 2 題,南中そーらん他 | 12 |
| 20 | 8月20日 | 大宮鮪政ホール | 安来節 2 題他 | 12 |
| 21 | 9月17日 | 伊奈あずみ苑 | 安来節 2 題,フラダンス,南中そーらん他 | 8 |
| | | | | 179 |

③活動状況点描





④決算報告

| | |
|--|---------|
| 収 入 大同生命厚生事業団助成金 | 100,000 |
| 支 出 | |
| 1.交通費 | |
| ①公演機材搬送用 車ガソリン代補助 (平均往復30Km、L/10km/@140円、年/18回) | 7,560 |
| ②公演場所への交通費補助 (@500/日/5人/年 20回) | 50,000 |
| 2.舞台用機材購入、整備 | |
| ①幟 めくり | 24,000 |
| ②舞台用背景つるし材料代 | 45,000 |
| ③公演用ラジカセ | 22,000 |
| 合 計 | 148,560 |

③ 期間内特記事項

私たちは7月14日の県内のいきがい大学生、同卒業生を対象とした“平成27年度 彩の国いきがい大学第一回公開学習”に県内の卒業生を代表して“H27いきいき活動事例発表会”において私たちの活動状況発表の機会を頂いた。



発表はジャーナリスト田原総一郎氏の講演“高齢者の元気と日本の未来”の前段での発表であった。構成はパワーポイント投影による事例発表と安来節泥鯱揃い踊りと最後に会場の皆さんから掛け声を頂いて踊る“南中ソーラン”の二部構成からなるものであった。

まずは『挨拶代わりにの安来節男踊り』で始まりMさんのいつもの名調子で同好会誕生から始まった。スライドが進むにつれて会場からはうなずき、どよめき、ため息みたいな反応が段々と大きくなっていった様な気がした。中でも“これからの私たち”のスライドの中でまず自分たちがいつまでも元気である事が社会福祉活動そのものであり究極のヴォランティア活動である』のくだけりが一番の共感を得たようで一番大きな拍手を頂いた。私たちは会場の皆さんにこの事を言いたくてこの発表会に応募したくらい重みのある言葉と思っている。この中の発表で大同生命厚生事業団様から自分たちの活動が認められて金一封を頂きました。ここでも『凄っい!!』の拍手を頂いたことを付け加えさせていただきます。



以上